

## 現在衛生学・公衆衛生学講座で実施している研究は以下の通りです。

### 研究キーワード

社会的孤立・孤独、フレイル、デジタルデバイド、ウィメンズヘルス、メンタルヘルス、生活習慣病、がん、リアルワールドデータ研究（健診・レセプト情報）

### 研究概要

#### (1) 地域在住高齢者の社会的孤立、フレイル、デジタルデバイドに関する調査

2023年度から2024年度に仙北市在住の65歳以上の高齢者を対象に自記式質問票調査を実施。調査項目は基本属性、閉じこもり、社会的・身体的フレイル、基本チェックリスト、医療・健康情報入手状況、デジタルデバイド、eヘルスリテラシーなど。質問票調査は医療レセプト情報と突合する予定で、生活習慣病や医療費などを含めて高齢者における健康問題について解析。

#### (2) ウツタイン消防庁心停止データベース研究

2005年から2022年度まで全国心停止データベース80万件のビッグデータ研究。すでに秋田大学医学部の学生さんが主体となりプロジェクトが動いている。新規メンバー募集中。

#### (3) トラックドライバー生活習慣調査

2023年度に秋田県内のトラックドライバー（運輸業の他、建設業、サービス業も含まれる）に実施した自記式質問票調査（回答者 約2,300人）。調査項目は、食品・栄養素摂取量、身体活動量、睡眠時間、不眠症状、飲酒量、喫煙歴、筋骨格系障害、不安・抑うつ度など。別で2023年度の健康診断・レセプトデータがあり、900人程度はデータを突合できる。

#### (4) 全国協会けんぽのデータベースを用いた就労女性の性に関する健康と労働生産性の実証研究

全国協会けんぽのレセプトデータベースを用い、働く女性において女性特有疾患の受療率やどの程度傷病手当金が支給されているのか、女性特有のがんでどの程度の方が離職しているのかを検証している。

### SA学生さんへのアピールポイント

- ・ 横断研究や前向きコホート研究など疫学研究、SASやRなど解析ソフトを用いたデータ処理、統計解析（記述統計、統計的検定、回帰分析など）経験ができます。
- ・ 近年話題のデータベース研究・リアルワールドデータを直に実践することができます。
- ・ データベース研究の限界点・デザインの仕方、健診やレセプト情報などを用いて病気やイベントをどのように定義するのかなど、データベース研究を実践するために必要な基礎的な知識を身に付けることができます。この経験は将来、医療ビッグデータを用いた研究に活かされます。
- ・ 希望される方は、日本公衆衛生学会・日本衛生学会・日本産業衛生学会・秋田県公衆衛生学会での学会発表、英文学術誌への論文投稿が可能です。講座内の教員がサポートいたします。